

谷川岳（大源太山）

山行日 6月6（日）天気：曇りのち晴れ

参加者 2名

記：SF

コース：朝原駐車場 5：40 → 北沢渡渉点 6：10 → 信玄ゆかりの道入口 6：12 →
大源太山 8：58 → 七ツ小屋山 11：35 → 1554m 地点 12：40 →
シシゴヤノ頭 13：32 → 信玄ゆかりの道入口 15：22 →
北沢渡渉点 15：25 → 朝原駐車場 15：40

今回の山行は、大源太山の東洋のmatterホルンの景色を見る為に朝原駐車場より大源太山へ行き、信玄ゆかりの道を通る周回コースとした、朝原駐車場への道は大源太山グランドキャニオンから狭い林道を約4-5km進んだ場所になる、夜中に通過したが、視界が効かない為に、間違った道なのか不安になった、カーナビの地図にも道路は途中からなくなっていた、そんな心配をしながら進むと、大源太山登山口の標識がありその先が広場になっていて、その場所が終点です、広場は約7-8台位駐車出来る広さがある、私たちが1番のりで、一番奥の場所に駐車した、外は暗いので5時まで仮眠を取った、目が覚めると数台の車が駐車してあり、早い人は出発していた、朝食を済ませ出発した、登山ポストのある場所が、登山口で最初の目標地点北沢渡渉場所へ人口林の中を進み北沢沿いに進むと、川にロープが張ってあり、その場所が渡渉場所です、水量が多い為、水中の浅い場所を探して渡渉する、誤ると濡れる可能性がある、この場所は無事に通過、その後沢添いの道を進むと、信玄ゆかりの道入口の標識がある、ここは帰りに降りてくる場所で、沢沿いをさらに進むと、小さな沢がありその先には曲がった梯子が設置されていた、そこから5分位進と次の渡渉点になる、この場所も渡渉先の岩に苔があり滑りそうで、飛んで渡るのが、怖いこの場所で片足が濡れた、次に自然林の急な直登を進む、尾根に出ると大源太山が見えるが、こちら側はmatterホルンとは異なる風景です、尾根になると岩が増えさらに進むと、急な岩の直登になり、登りきるとそこが、大源太山の山頂です、山頂の展望は良いが、虫が多いので、あまり長く山頂には、いられない、ここから七ツ小屋山へ向かう、山頂直下の下りには、鎖が設置されていて、下るのに注意が必要、この区間が今回のコースの中で、一番危険な箇所になります、その先も小さなアップダウンを、繰り返し最後の直線な尾根を登ると、清水峠との分岐点となり分岐点の先に七ツ小屋山がある、到着時に数組の登山者が、昼食中の為、その先に進み、広い場所で昼食タイムとした、清水峠分岐から、1544地点の間は白毛門のコースの一部になる、このあたりの景色は一面笹原が広がり、季節にもよるが、見ごたえのある景色です、昼食中に先ほど昼食を取っていた数組の登山者が、通過した、昼食後1544m地点に向う、蓬田ヒュッテはここからは約10分位の場所です、私たちはシシゴヤノ頭経由朝原駐車場方面に進んだ、シシゴヤノ頭までは尾根道で多少のアップダウンがあるが、歩きやすい、シシゴヤノ頭からは、笹藪の急な下りで、地面が湿っていて滑りやすい、その次は自然林の中の九十九折の道で急な下りもあり、途中崩落箇所もあった約1時間位で、水場と思われる場所に到着、その後ヒロクボ沢添いの道を、信玄ゆかりの道入口の標識がある場所まで進む、最後に北沢渡渉点に向かった、朝とは反対に渡渉するが、飛び石がみずの中で尚真ん中付近は深くなっていて少しの間飛び石が無いので、バランスを崩し水の中を渡る事となった、そこから駐車場までの間は、人口林の平たんな登山道で、約15分位で駐車場に到着した、出発時に満車でしたが3台が残っていた、ここから今夜の宿へ移動、宿は越後中里駅前の民宿です、駅の反対側はスキー場です、この時期は人が少なく、付近の民宿も閉めている民宿もある私たちの泊まった民宿も今夜は3名しかいなかった、最後にこのコースで山行を行う場合第2渡渉点まで、沢靴で行った方が良いと感じた、民宿の人に確認したところ、6月の水量は少ない時期とききましたので。



大源太山 登山口 ポストもあります



第一渡渉点反対が側から来た
途中石が水の中



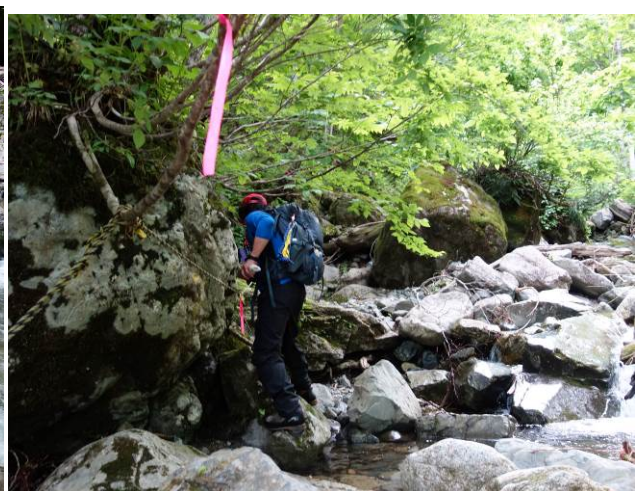
信玄ゆかりの道入口下山は左側より



折れた梯子を上る



第二渡渉点 真ん中石が滑りそう
右足が少し濡れた



渡渉後岩伝いに進む



その後急登の始まり 尾根までは長い



大源太山が正面に



大源太山キャニオンが見える



山頂まじか まだ急登が続く、



山頂での記念撮影



山頂直下の下りロープがあるが
かなり危険



まだ下りは長い



途中まで下った



ロープで最後の下り



急な下りを降りてくる



七ツ石小屋山への尾根



振り返って大源太山（マターホルン）



清水峠分岐



七ツ石小屋山



湿地木道



1544 地点 左は蓬峠へ約 10 分



大源太山この形は（東洋のmatterホルン）



シシゴヤノ頭



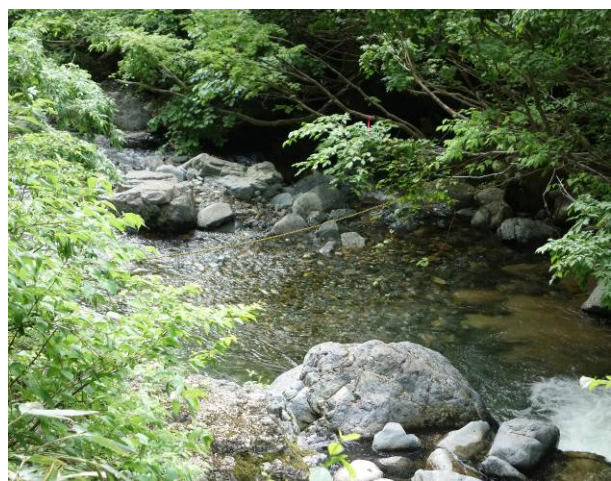
水場 水は冷たいが飲料は不明



一部崩落箇所があり藪通過



信玄ゆかりの道入口に戻った



第一渡渉点を上流より見た



第一渡渉点 朝より数量が多い
ここで両足が濡れた



登山口に到着



宿泊した民宿の夕食
コロナウイルスの影響でしゃもじが各自に)



ベニサクラドウダン



タテヤマリンドウ



シラネアオイ



ハクサンシャクナゲ



イワウチワ